

第五十二回 帝國議會 議衆 河川法中改正法律案委員會議錄(速記)第四回

付託議案

召甲二年二月四日(金蠶日)午後一時四
會 議

昭和二年二月四日(金曜日)午後一時四

出席委員左ノ如シ

委員長 神谷彌平君
理事 加藤知

神谷彌平君
理事 加藤知
専田青

黒田重兵衛君
竹原 樸一君

小島 善作君

出席政府委員左ノ如シ

内務政務次官 儀孫一君

委員長ノ許可を得て出席シクバ考力ノ如シ

内務書記官 岡田 文秀君

シノ如左議案タルリ上ニニモ

河川法中改正法律案(政府提出)

○神谷委員長 是ヨリ開會致シマス

政府委員ガ出席スルマデ此儘御待ヲ願

ヒマス——政府委員ガ出席セラレマシ

タカラ會議ヲ開キマス、竹原君、御質問

ガアレバ……

○竹原委員　此條文ニ付テ直接ノ關係

ハアリマセヌガ第二期ニ屬スル改修河

川ノ實施後ノ状況ヲ—ツ承リタイノテ
スザ、總計六十幾ツノ中既ニ著手ノタ

ノカ 総計六十幾ツノ中既ニ著手シタ
モノガ幾ラ、又工事ヲ終ヘタモノガ幾

ヤハナ幾ラテア工事大綱ヘタニハナ幾ラ、測量中ノモノガ幾ラト云フコトヲ

ヒタイト思ヒマス

○ 俵政府委員 私カラ御答シマシテモ

宜シウゴザイマスガ、サウ云フ状況ハ
私ヨリハ此處ニ出テ居ラル、河川課長
ノ方ガ詳シイノデスガ、便宜上河川課
長カラ御答スルコトヲ御許シヲ願ヒタ
イ
○神谷委員長 宜シウゴザイマス
○岡田内務省河川課長 大正十年ノ第
二期ノ臨時施設調査會ニ於キマシテ決
議ニナリマシタ五十七河川ノ中デ、次
ニ申上ゲマス九河川ハ現ニ工事中デア
リマス、天龍川、信濃川上流、鬼怒川、旭
川、筑後川、紀ノ川、千代川、芦田川、北
川、次ニ狩野川ト大淀川トハ昭和二年
度ノ豫算ニ計上ニナフテ居リマス、ソレ
カラ其他ノ河川ニ付キマシテハ其後改
修計畫ノ調査ガ進捗致シマシタモノ、
中デ、震災ノ爲ニ書類ガ焼ケテシマッタ
モノガアリマス、阿武隈川、相模川、川
内川、矢作川、木津川、那賀川、最上川上
流等ハソレデアリマスガ、其後是等ノ
河川ニ付キマシテモ調査ヲ進メマシテ
ソレヽ＼相當ノ歩合デ調査ガ出來上ツ
タノデアリマス、尙ホ其外次ニ述べマ
ス十二河川ハ相當ノ調査ガ出來テ居リ
マス、常願寺川、新宮川、大和川、太田川、
渡川、小貝川、菊川、大野川、豊川、肝屬
川、鶴見川、由良川、ソレ以外ノ二十七
河川ハ今日尙ホ未著手ノ儘ニナフテ居
リマス

○岡田内務省河川課長 結局震災前後ヲ通じマシテ、今日調査中ノモノガ十九河川アルノデアリマス、其外ニ狩野川、大淀川ガアリマス
○竹原委員 第二期ニ屬スル分デ竣工ニナツタ云フモノハ、マダ一ツモナイノデスカ
○岡田内務省河川課長 左様デゴザイマス、竣工ニナリマシタノヲ序ニ申シマスガ、第一期河川ノ中ノアルモノガ竣工シタニ止ツテ居ルノデアリマシテ、即チ竣工シタモノハ、庄川、遠賀川、高梁川、吉野川、是ダケガ竣工シタモノニアリマス
○竹原委員 サウ致シマスト、第一期ノ分ニ於テモ未竣工ノモノガマダ多イノデゴザイマスカ
○岡田内務省河川課長 左様デアリマス
○竹原委員 第一期ノ分ニモ尙ホ未竣工ノモノガ多イノデアリマスカ
○岡田内務省河川課長 左様デゴザイマス、第一期ノ分ニモ未竣工ノモノガマダ多イ
大分アリマス、出來上ツタモノガ庄川、遠賀川、高梁川、吉野川デ、ソレ以外ハ、マダ工事中ニナツテ居ルノデアリマス
○竹原委員 第一期ノ未竣工ノ分ハ大

○神谷委員長 竹原君、只今ノ御質問ノ條項ニ付テノ必要ノ條件ハ複寫カ何カデ取フテ戴イテ、配布シテ貰フコトニ御要求ヲ爲スフテハ如何デスカ

○竹原委員 サウ願ヒマス

○神谷委員長 サウスレバ政府ニ要求シマシテ、其事柄ダケノ書イタモノヲ各委員ニ頂戴シタイト思ヒマス

○俵政府委員 竹原君ノ質問ノ事項ハマダ澤山アリマスカ——材料ガ參リマシタカラ御答致サセマス

○岡田内務省河川課長 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、一々申上グマス、利根川ハ昭和四年、荒川ノ下流ハ昭和三年度、荒川ノ上流ハ昭和十二年度、北上川ハ昭和五年度、阿賀川ハ……

○俵政府委員 此表ガアリマスカラ、此表ヲ竹原君ニ差上グマシテ、ソレ 御承知ヲ願ヒマス

○神谷委員長 竹原サン宜シウゴザイマスカ……

○竹原委員 宜シウゴザイマス、ソレカラ遅レマシタノデ或ハ他ノ委員諸君カラ御問ニナフテ或ハ重複ニナルカモ知レマセヌガ、此六條ノ改正ト云フモノハ先年砂防法ノ改正ガアリマシテ、甲乙二縣ニ五ル云々ト云フコトニナフ

○ 依政府委員 是ハ前議會ニモ申述ベ
タ通リニ、從來ハ二府縣ニ跨ツタモノニ
限ツテ居ツタモノヲ、今度ハ一府縣デアツ
テモ、矢張政府自ラガ將來維持ガ出來
ルト云フコトニ改正スルノガ趣意デアツ
リマシテ、主務大臣自ラ其工事ヲ施行
シタモノ、中ニ付キマシテ、尙ホ必要
ト認ムルトキハ矢張内務省ニ於テ直接
維持管理スル、斯ウ云フ事ノ趣意デア
リマス

○ 加藤委員 昨年ノ新潟縣下ニ於ケル
水害ニ付キマシテ尙ホ一ツ伺ヒ漏ラシ
テ置キマシタ事ガアリマスカラ、此機
會ニ於キマシテ政府委員ノ御考ノアル
所ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、ソレハ外
デハゴザイマセヌガ、中蒲原郡川東村
大字赤羽ノ地先ガ三百間バカリ破堤シ
マシテ、村落ノ方ニ濁流ガ滔々トシテ
入り込ンダ、其所ニ磐越線ト云フ線路
ガ貫通シテ居リマスルガ、其線路ノア
リマス爲ニ其破堤カラ押込ム所ノ濁流
ガ非常ニ線路ノ上方ニ溢レテ、爲ニ赤
羽ト云フ部落ノ如キハ、昔カラ浸水等ヲ
致シタコトノナイト地デアルニモ拘ラ
ズ、悉ク浸水ヲ致シテ、其水ガ容易ニ退
カナイ、所ガ其所ニ鐵橋ガアリマスガ
其鐵橋ノ廣サハ早出川ノ方ノ廣サハ五
十尺以上ニナツテ居リマスルケレドモ、
其中間ニアリマスル所ノ道路ノ間ニ、

排水用トシテ設ケラレテアル所ノ鐵橋ハ、其橋脚間ガ僅ニ二十尺ニ過ギナイ、爲ニ其破堤カラ這入リマシタ水ガ溢レテ、下ヘ直ニ流レナイ結果ガ、只今申シテ、マシタヤウニ其赤羽部落へ浸入シテ、悉クノ家屋ガ浸水ヲ致シタト云フ實況デアルノデアリマス、此際ニ鐵道ノ方デハ、其鐵橋ガ段々水ノ爲ニ脚下ヲ洗ヒ浚ハレル爲ニ、危險ヲ感ジテ、サウシテ貨車ニ石ヲ積込ンデ持ッテ來テハ其處ヘドンヽ埋メタ、土地ノ者ハソレヲ塞ガレルト益陸上ヘ上ル水ガ多クナルノデアリマスルカラ、部落民ハ直ニ抗議ヲ申込ミ、更ニ新津ノ運輸事務所ヘ押掛ケテ行ツテ、事務所長ニ强硬談判ヲシテ、サウシテ漸クソレヲ押へ止メタト云フヤウナ譯デアリマシタ、其當時私共ガ其實際ヲ見マシテ頭ニ感ジタコトハ、鐵道省ハ唯自分ノ線路サヘ保護スレバ宜イ、自分ノ鐵橋サヘ保護シテ居レバ宜シイト云フヤウナ所カラ、破堤ノ所ヘハ何等手ヲ著ケナイ、サウシテ唯自分ノ危イト思フ所ダケニ、之ニ備ヘルコトダケヲ致サウトシテ居ラタヤウナ譯デアル、是ニ於テ私ハ斯ウ云フ大水害ノ場合ニハ、唯自分ノ線路ノコトノミヲ考ヘズニ、破堤ノ方ニドウセ貨車ヲ以テ石ヲ澤山積ンデ來ルノデアルカラ、其石ヲ破堤シタ所ヘ埋メテ、相當ニ防水ノ方法ヲ講ズレ

バ、押込ム所ノ濁流モ防ギ得ラレルカラシテ、線路モ從ツテ其危險ヲ免レルコトガ出来ルシ、又土地ノ者モ其水害ヲ餘程減ズルコトガ出来ルノデアルカラシテ、斯ウ云フ場合ニハサウ云フ杓子定規的場所ニ向ツテ村民ト協力一致シテ、其濁流ヲ防グヤウナ方法ヲシテハ如何ナモノデアラウカト云フコトヲ質問ヲ致シタノデアリマスガ、其時事務所長ガ答ヘラレルニハ、ソレハドウモ内務省トカ或ハ縣ノ土木係ガヤレバ宜シイコトデアッテ、吾ミハソコマデ立入ツテヤル譯ニハ行カヌト云フコトデアッタノデアリマス、一應私共ハソレハ尤ダト思ヒマシタガ、併シ國トシテ見マスト云フト、サウ云フヤウナ場合ニハ是ハ鐵道省ノ方ニ關係ノアルモノデアルカラ構ハヌデ宜イトカ、アレハ内務省ニ關係ノモノデアルカラ構ハヌデ宜イ、是ハ縣ガヤルベキモノデアルカラト云フヤウナコトヲ言ツテ、御互ニ争ラシテ居リマシテハ、唯迷惑ヲスル者ハ其土地ノ者ガ迷惑スルダケノ話デアルカラ、斯様ナ場合ニハ宜シク鐵道省ナリ内務省ナリ、ソレドヽ聯絡ヲ取ツテ置イテ、應急ノ手段方法ヲ講ズル方ガ宜カラウト考ヘル、例ヘバ火事ガアツタ場合、アレハ俺ノ町デナイカラ知ラナイト云フト云フコトニナルノデアルカラ、火事

ノ場合ニハ四方八方カラ寄リ集シテ、御
互ニ限界爭ヒナドヲシナイデ、之ヲ消
止メルコトニ一生懸命ニナラナケレバ
ナラヌシ、又現在サウ云フコトニナッテ
居ルノデアルカラ、ソレト同様ニア、
云フ大水害ノアリマシタ時ニハ、限界
争ヒナドヲセズニ、互ニ協力一致シテ
成ベク其災難ヲ輕減スルヤウニスル方
ガ御互ノ爲ニナッテ宜イデハナイカト
云フ風ニ、實ハ痛感ヲ致シテ居ルノデ
アリマスガ、斯ル場合ニハ内務省邊リ
ハドウ云フ風ナ一體御取扱ヲナサルモ
ノデアルカ、若シサウ云フヤウナ實例
ガナイトスレバ、鐵道省邊リト豫メ是
ハ御交渉ニナッテ、サウシテ左様ナ大水
害等ノアリマシタ場合ニハ、互ニ協力
一致シテ之ヲ防グヤウナ方法ヲ講ズル
ヤウニセラレタイト思フ、只今茲ニ御
配布ニナリマシタ水利法參考資料ノ第
三章第二十三條ノ所ニ「洪水ノ危險切
迫ナルトキハ、地方行政廳又ハ其ノ委
任ヲ受ケタル官吏ハ、其ノ現場ニ於テ
直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ、
土砂、竹木其ノ他ノ材料、車馬其ノ他ノ
運搬具及器具等ヲ使用若ハ徵收シ、又
ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ、又ハ家
屋其ノ他ノ障碍物ヲ破毀スルコトヲ得」
斯ウ云フヤウナ洵ニ適切ナル方法ヲ講
ジラレテアリマスルカラ、更ニ一步ヲ
進メテ只今申シマシタヤウニ、是ガ内
務省ノ範圍デアル、アレガ鐵道省ノ範
圍デアルト云フヤウナコトヲ言シテ、範

圍爭ヒノヤウナコトヲサセズニ、詰リ
其破堤ノ場所ニ向フテ是ガ防禦ノ方法
ヲ講ズルヤウナ途ヲ開カレマシタナラ
バ、如何バカリカ地方民ハ助カルコト
デアラウト、斯ウ考ヘルノデアルガ、此
點ニ付キマシテ政府委員ハ如何様ニ御
考ヘデセウカ、此際御伺ヲ申上ゲテ置
キタイノデアリマス

○ 依政府委員 只△實例△以△ハ渋水ノ起△タ場合ニ於テ、危急ナ時期ニ其破堤ヲ修理シ、其應急手當ヲスルコトスラ出來ナイト云フヤウナ、窮屈ナコトデア、テハ困ルト云フヤウナ意味ノ御尋ニアツタヤウデアリマス、洵ニ御尤ナコトデアリマス、併ナガラ御話ノヤウニ堤ガ危急ニ瀕シタヤウナ場合ニハ、何人ガソレヲ修理シテモ差支ナイモノト思フ、鐵道省ガ其場合管理者カラ叱言ヲ食ウカライカント云フヤウナコトハ全ク常識ニ反スルコトデ、何處ノ管理デアラウガ、危急ノ場合ニハ何人デモ誰ガ考ヘテモ一向差支ナイモノデアルト思フ、ソレニ對シテ危急ノ場合ニハ何人デモ之ヲ爲スコトガ出來ルト云フヤウナ規定ハ、別段設ケヌデモ私ハ當然出來ルト思フ

リマス、成程仰シャル通リ今茲ニ堤防ガ破壊シ掛ッテ居ル、ソレヲ防禦スルニ於テハ何人ガヤツテモ一向差支ナイ、又實際ソレハヤツテ居リマス、ソレニ付テ御尋シタノデハアリマセヌ、既ニ破堤シテシマツタ、ソシテ其破堤ノ場所カラ水ガ押込ンデ來ル、其水ガ磐越線ト云フ線路ノアル爲ニ遮ラレテ下方へ旨ク流レナイ、其線路ノ出來ナイ前ニ於テハ左様ナ家屋ノ浸水シタコトモナシ、又田畠ヘモ浸水シテ收穫皆無ニナツタト云フヤウナコトハナカツタノデアル、然ルニ線路ガ付イタ爲ニ昨年ノヤウナ水害ニ遭遇シマシタ結果、三十何町ト云フ田畠ガ荒廢ニ歸シ、又赤羽ト云フ部落ノ如キ悉ク浸水シテ、何日モ何ニモ水ガ引カナカツタ、然ラバソレハドウシテサウ云フコトニナツタカト言ヘバ、鐵道省モ豫メソレヲ慮ツテ、其防水平ノ爲ニ其線路ノ中間ニ鐵橋ヲ設ケテアフル、其鐵橋ヲ設クル際ニ其地方ノモノガ二十尺デハ狭イカラ、ドウカ五十尺以上ニシテ貴ヒタイ、サウスレバ縦シ破堤ガアツモ流レル水ヲ遮ルヤウナコトハナイカラ、サウシテ貴ヒタイト云フコトヲ願フタノデアルガ、併シソレハ到頭聞入レラレナカツタノデアル、要スルニ是ハ其當時ノ役人ガ所謂役人根性デ、自分ノ言出シタコトヲ通サナケレセルカナ二十尺ニ致シタ結果破堤ノ場

所カラ水ガ流レテ來テモソレヲ遮ラズ
ニ流スコトガ出來ナイ、ソレガ爲ニ只
今申シマシタヤウナ慘状ヲ呈シタノデ
アリマス、其破堤シタ當時私ハ其實況
ヲ見ニ行ツタ、其時鐵道省デハ只今ノ二
十尺ノ鐵橋ガ足許ヲ洗ヒ去ラレル結
果、鐵橋ガ危險ニナッタノデ、ソノ危險
ヲ防グ爲ニ他カラ石ヲ澤山積ンデ來テ
ドン／＼鐵橋ノ足許へ放リ込ンダ、併
ナガラソレヲ放リ込ムト流レル水ガ尙
更ニ遮ギラレル、隨テ被害ガ多クナリ
マスカラ、地方民ハ之ヲ大變ヤカマシ
ク言ツテ新津運輸事務所へ抗議ヲシタ、
其結果ソレハソレナリデ止ミマシタガ、
其時私ハ運輸事務所長ニ會ヒマシテ、鐵
橋ノ足許へ放リ込ム石ガアルナラバ、其
石ヲ何故破堤ノ場所へ御埋ニナラナイカ
サウスレバ、流レ込ム水モ幾分少クナッ
テ鐵橋ノ危険モ少クナラウ、地方民モ
喜ブノニ、何故サウ爲サラナイカト申
シタ所ガ、ソレハ方面違ヒデアル、河川
ハ内務省ナリ、縣廳デヤルコトダカラ、
自分ノ關係以外ノ事ハ出來ナイ、斯ウ
云フ答デアツタ、其時私ハソレハ甚ダ不
都合デハアリマセンカ、内務省ヤ縣ノ
土木課モ無論責任ハアリマセウガ、斯
ウ云フ大水害ノ場合ニハ、應急手當ト
シテ何人ガ之ヲヤフテモ聊カ差支ノア
ルモノデハナイ、斯ウシテ貴方ノ方デ
モ今貨車ニ澤山石ヲ積ンデ來テ、鐵橋
ノ足許ヘ入レルモノガアルナラバ、其
石ヲ破堤ヘ持ツテ行ツテ埋テハドウデス

カト云フテ懇々話ヲシマシタケレドモ、
ソレハソレマデノ話デアツテ、遂ニ其儘
リマス、御役所ト云フモノハ色ニ分レ
ルト云フト、是ハ鐵道省ノ領分デアル、
是ハ内務省ノ領分是ハ農林省、是ハ商
工省ノ領分ト云フテ、兎角領分争ガ生ズ
ルノデ、他人ノ領分ニ屬スルモノニ付
テハ、餘計ナオセカイヲシテ叱ラレテ
モ詰ラヌト思ハレルコトハ一應御尤デ
アルガ、只今申スヤウナ水害ノアリマ
ス如キ場合ニ於テ、而モ多クノ人命財
産ニ大關係ヲ有スルヤウナ場合ニ於キ
マシテモ、是ハ内務省ノ仕事、是ハ縣ノ
土木課ノヤルベキ事ダト云フヤウナコ
トヲ申シテ居ルコトハ甚ダ宜シクナイ、
人道上甚ダ不都合ナ行爲デアル、餘リ
ニ杓子定規デアルト云フヤウナコトヲ
感ジタノデアリマス、御伺申ス趣旨ハ
此處ニ在ルノデアリマス、斯ノ如キ大
水害ノアツタ時ニハ、鐵道省ト内務省ト
ノ間ノ聯絡ガ十分取レテ居レバ、斯様
ナ事ハナイ筈デアルト思フ、斯ウ云フ
コトハ實際問題デアリマス、机上ニ於
シテ参リマシテ、只今申スヤウナ場合
テ法律ヤ規則ヲ定メタダケデハ分ラヌ
ノデアリマス、是カラ線路モ段々發達
ニ遭遇スルコトガ次第ニ多クナツテ來
ルト思ヒマスカラ、斯ノ如キ場合ニ於
テハ、是ハ内務省ノ範圍、是ハ鐵道省ノ
範圍ト云フヤウナコトハ申サズニ、應

急ノ手當ヲ施シ得ルノ途ヲ御開キ下サルト云フコトハ、地方民ノ爲ニ尠カラザル利益ヲ齎スモノデアルカラ、之ヲセラレルコトハ最モ大切デアルト考ヘマスガ故ニ、御伺スルノデアリマス、政府委員ハ此點ニ付テドウ云フヤウニ御考ヘニナフテ居ルカ、若シ今マデ何等ノ御考ガナカツタト云フナラバ、將來ハ十分御考慮下サッテ、只今申上グル如キ事ヲ再び繰返スコトノナイヤウニ、御配慮ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ意味ニ於テ御同致シタノデアリマスカラ、之ニ對シテノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス○僕政府委員 私モ其意味ト理解シテ御答シタノデアリマスガ、今ノ御話ヲ伺ツテ尙ホ明瞭ニナッタヤウデアリマス、御指摘ノ場合ハ、一般ノ其地方民ノ利益ヲ保護スルコト、鐵道省ノ線路其モノヲ保護スルコト、利害ガ共通スル其場合ニ於テ鐵道省ガ其鐵橋ノ間隔ヲ狭メルト同時ニ、其地方民ノ水害ヲ増加スルヤウナ方法ヲ以テ砂利ヲ埋メルコトハ甚ダ困ルト云フ御抗議ニ對シテハ、御尤千萬ト思フノデアリマス、斯ノ如キ危急ノ場合ニ於テハ破堤ノ修理ヲシテ、其水害ヲ防止スルト云フコトハ、何人ガヤツテモ宜イノデアリマシテ、是ハ常識ヲ以テモ判断シ得ラレルコト、思テノデアリマス、御話ノ如キ場合ニ於テハ、斯ノ如キ事ヲ爲スハ實ニ一擧手、一投足ノ勞デ出来ルノデアフテ、ソレヲヤラナカツタスレバ、或ハ他官廳ノ行

爲ニ付テ種々批評スルコトニナツテ如
何カト思ヒマスケレドモ、私ハ寧ロ當
該官吏ノ常識ヲ疑ハザルヲ得ヌト思フ
ノデアリマス、平素ニ於ケル堤防ノ管
理ト云フコトハ重大ナル關係ヲ及ボス
ノデアツテ、ソレ故ニ管理者ノ權利ト云
フモノハ嚴重デアリマスガ、危急ノ場
合ニ於テ、之ヲ處理シテ、其危險ヲ防遏
スル適當ナル方法ガアレバ、何人ガ之
ヲ爲シテモ宜シイノデアリマス、況ヤ
鐵道省ガ砂利ヲ持ツテ來タリ、土俵ヲ持ツ
テ來テ、ソレヲ直ニヤルト云フコトニ
對シテハ誰モ反對シナイシ、又何デモ
ナイノデアツテ、ソレヲ彼此レ申スト云
フニ至ブテハ、私ハ鐵道省ノ當該官吏ノ
常識ヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス
○加藤委員 如何ニモ只今政府委員ノ
仰シャル通リデ、實際サウアラネバナ
ラヌト思ヒマスノデ、ソレヲセナカッタ
ト云フ點ニ付テハ、當該官吏ノ常識モ
疑ヘルコトニナルノデアリマセウガ、
併シ斯様ナ場合ニ於テ、サウ云フ處へ
持ツテ行ツテ石ラドン／＼入レテ埋メル
ノハ宜シイガ、斯様ニスレバ經費ヲ要ス
ルノデ其結果餘計ナ事ヲシテオセツカ
イダト叱ラレテモ困ルト云フコトニナ
ルノデ、實際ニ於テ其破堤ノ處ヲ防ガ
ナケレバ此方ノ鐵橋モ危イノダカラ、
應急修理ヲシテモ差支ナイト云フ位ノ
コトヲ當該官吏ガ知ラヌコトハナカラ
ウト思フガ、其場合ニ於テ左様ナ事ヲ
シナイト云フノハ、要スルニ經費ノ問

題ニナルノデ、經費ト云フコトニナルト後ニ於テ内務省ノスベキ仕事ヲ色ム鐵道省ガ手ヲ著ケテ、餘計ナ事ヲヤッテ來ルカラ、其經費ノ出所モチャント定シテ居レバ宜イガ、若シ無イコトニナルト問題ガムヅカシクナルト云フ點ニ對シテ考ガアツタ爲ニ、斯様ナコトニナッタノデハナイカト想像セラレルノニアリマス、若シ此想像ガ事實トスレバ、矢張是ハ内務省ト鐵道省トノ間ノ聯絡ガ主旨ク取レテ居ナイト云フ、一ツノ缺陥ヲ見出スコトガ出來ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、鐵道省ト内務省トノ間ニ於テ、若シ斯様ナ場合ガアツタナラバ、其經費ニ付テハドウスルト云フヤウナ點ニ付テ、御互ニ聯絡ガ十分取レテ居タナラバ、鐵道省ト雖モ斯ノ如キ場合ニ、而モ汽車デドンヽ持ツテ來ル石ヲ埋メルノデアルカラ、眞ニ一舉手、一投足ノ勞デアツテ、一人ヤ二三人デ一ツカ二ツ程宛持ツテ來テ埋メルト云フ如キ場合トハ全然趣ヲ異ニスルノデアリマス、然ルニ之ヲセナカッタト云フノハ、歸スル所其費用ノ關係カララデアルト思ハレルノデアリマスカラ、斯様ナ點ニ付テハ兩者ノ間ニ十分聯絡ヲ取ツテ地方民ノ爲ニモ有利ニ事ヲ處理シテ貰ヒタイト云フ考ニ於テ御質問申上ダタ次第ナノデアリマス

合ニ於テ鐵道省ト内務省ト豫メ打合セ
ヲスルト申シタ所デ、斯様ナ場合ハ鐵
道省關係ノミニ起ル問題デハナクシテ、
他ノ個人關係ニ於テモ或ハ町村關係、
會社關係ニ於テモ、起ル問題デアリマ
シテ、其場合ニ於ケル應急處理ノ費用
ニ付テハ方法ガアルノデアリマスノデ、
豫メドウスル、斯ウスルト云フ必要ハ
ナイノデアリマス、河川法施行地ナラ
バ府縣、サウデナイモノハ市町村、斯ウ
定ツテ居ル、只今貴方ノ御指摘ハ鐵道省
關係ノミデアツタケレドモ、或ハ會社ガ
アツテ會社ヲ保護スル爲ニドウシテモ
防ガナケレバナラヌ人民ノ庭園ガアル、
會社ト人民トノ利害ガ共通ナ場合デア
ルト、ドウシテモ是ハ行ツテ防ガナケレ
バナラヌ、費用ガ餘計掛ツタ、其費用ヲ
ドウスルカト云フコトニナッテ、矢張此
問題ハ起ツテ來ル、サウ云フ危急ナ場合
ノ費用ハ何處カラ出ルト云フヤウナコ
トハ、一體考ヘル餘地モナイ場合デアッ
テ、併シ取敢ヘズ費用ヲ掛けテ居ル、其
費用ノ負擔ヲドウスルト云フコトナラ
バ、是ハ其堤防ヲ維持修理スル所屬ノ國
ナラ國、府縣ナラ府縣、市町村ナラ市町
村ガ負擔スルト云フコトニナルコトハ
是ハ當然ノコトデアリマス、ソレハ定ツ
テ居リマス、少シモ心配ハ要ラヌト私
ハ思フ

尋ネ申上グルコトニナルノカモ知レマセヌガ、無論サウ云フ場合ニ於テ其堤防ニ對スル費用ナドハ或ハ國カラ出ルトカ、或ハ縣カラ出ルトカ、或ハ市町村カラ出ルト云コトニハ定フテ居マセウガ、併シ例ヘバ鐵道省ナラ鐵道省ガ臨機應變ノ處置ヲ執ツテ、完全ニ堤防ヲ築上ゲテ、サウシテ之ヲ假ニ國カラ出ル所ノ費用ト定メマセウカ、其場合ニ鐵道省ガ其費用ヲ内務省ニ要求シタ場合ニハ、内務省ハ之ヲ異議ナク支出爲サルノカドウカ、ソレハ詰リ完全ニ堤防ヲ築イテ防禦シ得タ場合デアリマスガ、今度ハ不完全ニ、這入ル水ヲ一時防グ爲ニ、或ハ全部ヲ防ギタイト思ッテヤツテモ力ガ足ラズ、或ハ材料ガ不足デアル爲ニ、破レタ場所ヲ完全ニ防グコトガ出來ナカッタ、所ガ更ニ今度ハ再び洪水ガ出テ來テ、折角入レタ所ノ防禦ノ用材モ流シテシマッタ、サウスルト鐵道省ナラ鐵道省、會社ナラ會社、地方民ナラ地方民ガ、折角其處ヘ力ヲ注ギ、經費ヲ掛ケテヤツタコトガ、痕跡モ殘ラヌヤウニナツテ來ル、斯ウ云フヤウナコトガアツテモ、若シ是ガ内務省ノ負擔デアリ、テドウモ自ラ疑義ガ起ラザルヲ得ヌノデスガ、斯様ナ場合ニハドウ云フ風ナコトニナルノデセウカ、御伺ヒ申上ダ

○ 僕政府委員 ソレハ内務省ト申シテ
ニ依テ内務省ノ負擔ヲスルノハ内務省管理
ノ河川デアリマス、ダカラシテ其河川
府縣費デ以テヤル場合、市町村費デ以
テヤル場合ト各區別ガアリマスカラ、
其負擔スル所ノ公共團體ガドウスルカ
ト云フ問題ニナル、而シテ管理者タル國、
府縣、又ハ市町村ニ何等交渉ナク何等相
談ナクヤツタ場合ニ於テ、其費用ガ幾ラ
要ツタカラト言ツテ來ラレテモ、恐ラクハ
交渉ノ相手タル所ノ公共團體ハ困ルデ
セウ、其場合ニハ必ズヤ管理者ガアルカ
ラ、管理者ニ一寸交渉サヘスルナラバ
ドウデモ出來ルカラシテ、管理者ノ認
メタ費用ナラバ或ハ負擔シマセウケレ
ドモ、管理者モ認メヌモノヲ無暗ニヤツ
テ、而モ不完全工事ヲ施シテ、ソレデ以
テ費用ヲ請求セラレテモ、ソレハ當該
管理者ガ困ル、即チ府縣ダトカ市町村
ガ自ラ困ル、ソレハ其場合ニ於テ相當
ナ方法ヲ盡セバ方法ガアッテ容易ニ行
ケルト思フ、恐ラクハ其鐵道省ノ官吏
ガ其方法ヲ知ラナイダラウト思フ
○ 加藤委員 是ニ於テ私ガ先刻御尋シ
タコトガドウシテモ疑問ニナツテ來ル、
サウ云フ災害ノ場合デ電信モ電話モ通
ジナイ、先刻政務次官ハ電話デ断ツテモ
宜イヂヤナイカ、斯ウ云フ御話デアッタ
ガ、電話デ断ルコトガ出來ル場合ハ宜
シイ、若シ電信モ電話モ通ジナイ、人ヲ
走ラセルニモ中々時間ヲ要スルト云フ

ヤウナ場合ニ於テ、只今御話ノヤウニ
其管理者ガ證人トナッテ其経費ハ支辨
ニナリマセウ、サウ云フ場合ニハ無論
差支ナイケレドモ、サウ云フ危急ノ場
合デアツテ、管理者ニモ断ルコトハ出來
ナイト云ツテ、ソレヲ構ハヌデ置ケバ非
常ニ災害ヲ多クスル、斯ウ云フ場合
ニハ、詰リ管理者ニ断ラヌカラ、断ラヌ
ト云フト其費用ト云フモノガ出ルカ出
ナイカ分ラヌ、斯ウ云フ疑ガ生ズルカ
ラ、實際此破堤シタ處ヲ防ゲバ宜シイ
ガナアト云フコトガ分ッテ居ツテモ、鐵道
省ノミニ限ラズ、其地方ノ人ト雖モ、ソ
レヲ知リナガラ見ス／＼是ハ内務省ノ
管理デアルカラドウモ仕方ガナイト言ツ
テ、ソレハ構ハヌデ置クト云フ結果ニ
往ツテシマフ、是ニ於テ私ハ思フ、地方
ノ部落民ナドハサウ云フ風ニ考ヘテ、
手ヲ拱イテ居ルヤウナコトハアリマス
マイガ、併シ遣ラウト思フテモ力ガ足
リナイカラ已ムヲ得ナイデ傍観シテ
居ル、場合ガ多イデセウガ、苟モ鐵道省
ト云フ大キナ舞臺デ、他カラ材料ヲ持ツ
テ來テソレヲ防禦スルコトガ出來ルト
云フ力ガアルモノガ、唯手ヲ拱イテ見
テ是ハ人ノ領分ダト言ツテ居ルト云フ
コトハ、要スルニ内務省ト旨ク連絡ガ
取レテ居ラヌカラデ、折角其處ヘ力ヲ
注イデ掛ケタ經費モ無駄ニナッテシマ
コトハ、何處カラ出ル途モナイト云フコトカ

ラ、ソレヲ防グハ宜イト云フコトガ分ッ
テ居テモソレニ手ヲ著ケナイト云フ
コトニナル、ソレデアリマスカラサウ
云フコトガアツタ場合ニ於テハ相當ノ
聯絡交渉ノ途ヲ執フテ置イテサウシテ、
其處ニ掛ケタ費用ト云フモノガ無事ニ
支出セラル、途サヘアレバ左様ナコ
トハナイダラウト私ハ思フ、デアリマ
スカラシテ此事ハ一ツ十分御考慮ヲ下
サレマシテ、サウシテ、相當他省トノ關
係ナドモ御考究ニナツテ其費用ノ出ル
ト云フヤウナコトニ於テ何等差支ナ
イト云フ途ヲ御開キ下サイマシタナラ
バ、先刻私ガ申シマシタ地方ノ如キ慘
状ヲ見ズニ濟ンダカモ知レナイト申ス
ノデアリマス

マスレバ、無暗ニヤツテシマツテ其金ガドノ位掛ツタカト云フコトモ分ラヌノニ、其費用ノ負擔モ豫メ定メテ置クト云フコトニナルト、國ガ負擔シヤウトシテモ、市町村ガ負擔シヤウトシテモ、其當該負擔ニ當ル所ノ團體ハ決シテソレハ宜シイ、萬事何デモ拂ハウト云フ譯ニハ行カヌデハナイカト思ハレル節モアル、併シ今ノ御趣意ハ尙ホ十分能ク研究ヲ致シマセウ。

○加藤委員 只今私ガ申上ゲマシタコトハ、其當時ノ實況ヲ御覽ニナラナケレバドウシテモ能ク御了解ガ出来ナイト私ハ思フ、唯費用ト云フコトハ先刻モ申シマシタヤウニ、私ノ其場合ニ於ケル想像デアリマスカラ、果シテサウ云フ所ニ出發シテ居ツタカドウカト云フコトモ、是ハ分ラヌノデアリマスカラシテ、ソレニ向ツテ私ガ調査シテ下サイト云フコトヲ申上ゲマスコトハド水害等ノアリマシタ場合ニドウスルト云云フ——此内務省ト鐵道省トノ關係ガ將來益線路ガ多クナルニ從テ密接ナ關係ヲ生ズルヤウニ思ハレマスカラ、ソレ等ノ點ニ於ケル一ツノ實例トシテ御研究ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲテ是デ打切ニ致シマス。

○竹原委員 河川ニ付テ幸デアリマスカラ、一應狀況ヲ申上ゲテ置キ、本川ノ工事ヲ御調査ニ著手セラレタノデアリマス、ソレ故先年御調査ニ當リ、修ノ工事ヲ願ヒタイト云フノデ、政府ニ於テモ諒トセラレテ御調査ニ著手セラレタノデアリマス、御承知ノ如ク此河ハ二十二年ノ大洪水以來非常ニ河川ノ模様ガ惡ク變リマシタノミナラズ近ヒマス、彼ノ三重、和歌山ノ新宮川ノ工事デアリマスカラ、幸デアリマスガ、是ハ申上ゲテ置キタイト思ハレマスカラ、ソレナラズ近ヒマス、彼ノ三重、和歌山ノ新宮川ノ工事ニ離レテ出來ル場合モアリ

事デアリマスガ、是ハ申上ゲルマデモナク、十三年以來急務トシテ測量ニ著手セラレテ、測量ヲ終ツタサウデアリマスガ、密ニ聞ク所ニ依ルト最モ急務中ノ急務ト認メテ、遠カラズシテ相當下流ノ工事ヲ起サレルト云フコトヲ豫テ承ブテ居ルノデアリマスガ、ドウ云フ此河川ニ對スル御見込ニナツテ居リマスカ。

○俵政府委員 只今御尋ノ新宮川ハ勿論被害ノ程度及河川ノ流域、其他ノ點ニ付テ相當計畫ヲ立テル必要ヲ認メマシテ、今調べテ居リマス、ソレデマダ調べガ完了致シマセヌノデ、完了シマシタラ其結果ニ依テ更ニ又攻究スルト云フコトニシタイト思ヒマス。

○竹原委員 マダ調査完了ト云フ曉ニ至ツテナインデスカ。

○俵政府委員 其通リデス

○竹原委員 幸デスカラ申上ゲテ置キマスガ、是ハ御出席ノ政府委員モ多分實況ヲ御承知ト思ヒマスガ、新宮川ノ最モ下流ニ當リマシテ、直接本流ノ關係デハナイノデアリマスガ、本川ノ氾濫ノ爲ニ農村ガ非常ニ滅少スルト云フコトニナツテ居リマスノデ、農村振興ヲヤカマシク言ヒ、生產保護ヲ稱フルノ今日ト致シマシテ、若モ本工事ガ遅レルト云ウコトナラバ、特ニ此農村保護ノ方法ヲ御立テニナルトマスカ、唯本川ノ改修ニ伴ハザレバ、如何ニ年々農村ニ腐蝕ノ損害ヲ與ヘテモ、是ハ止ムヲ得ヌト云フ御見込デアリマスカ、御見込ノ所ヲ一應伺ツテ置キタイニ此農村保護ノ方法ヲ御立テニナルトモノガ年々歲々倒レル、風致林トシテノ效能ヲ失フノミナラズ、一面ハ魚附林トシテ、海面ノ魚類ニ非常ナ惡關係ヲ來シテ居ル、先年來農商務省時代カラ引續イテ國土保安ノ爲メ、相當ノ工事ヲ施シテ貰ヒタイト云フコトヲ、出願致シマシテ、山林局ニ於テモ調査ヲ遂ゲラレタガ、何分山林局ノ國有林ヲ保護スルト云フ程度ハ洵ニ小サイモ

ノデアル、内務省ノヤウナ譯ニイカヌ
ノデアル、幸ニ第二期治水工事ノ中ニ
此川ガ加ツタノデアルニ依テ、其本川ノ
改修ガ出來タナラバ、此地盤ノ關係ト
云フコトモ自ラ防ギ止マル、デアラウ、
土地ノ保護、海面ノ保護モ自カラ生ズ
ルコトデモアルノデ、何トモ之ヲ待ツ
ヨリ仕方ガナイト云フ關係モアルノデ
アリマス、然ルニ今日ノ如ク治水ノ本
工事ガ進マナイトスルト、地盤ガ決潰
シテ海陸ニ損害ヲ與フル所ノ地面ノ缺
損モ何トモ致方ガナイヤウニナルノデ
アリマス、幸ニ内務次官ハ御出席デア
リマスカラ、此邊モ御聽取ヲ願フテ、御
含置ヲ願ヒマス

○寺田委員 私ハ前回ニ河川トカ、砂

防トカ、水利トカ、所謂治水ノ全般ニ
涉ツテ統一的ノ法律ヲ制定サレル必要
十九年ノ制定ニ係リ、今ヤ時代ニ相應
ハヌヤウナコトガアルト申シタニ對シ
テ、政府ハサウ云フ法案ノ必要ヲ認メ、
目下調査中デアルト云フ御答デアリマ
シタ、併シ今期議會ニ提案ノ運ビニ至
ト思ヒマスガ、來期議會ニハ必ず御提
案ニナル積リデ内務省其他ニ於テ目下
實際御調査中デアリマスカ、サウシテ
何時頃其御調査ガ終ツテ提出ニナリマ
スカ、大體ノ御見込ヲ伺ヒマス、第二ニ
日本ノ河川ガ國有デアルコトハ常識上

疑ハヌノデアリマスガ、如何ナル法律
ニ依テソレガ認定サレテ居ルノデア
リマスカ、素人ニハ分ラヌノデアリマ
ス、河川法第一條ニ依ルト、公共ノ利害
ニ重大ノ關係アリト認メタル河川ダケ
ヲ國ガ管轄シテ居ルノデアリマシテ、
主務大臣ガ左様ニ認メナイ河川ハ何レ
ノ所有ニナルノデアリマスカ、管理ハ
府縣ナリ國ナリデヤツテ居ルノモアリマ
セウガ、ソレニシテモサウ云フコトヲ
規定シタ法規ハ現存シテ居ルノデアリ
マスカ、或ハ又河川其物ガ國有デアル
ト同様ニ、水力モ國有デアルト考ヘテ
居リマスガ、水利ヲ利用シテ水力電氣ヲ
起シテ居ル、其水力電氣ニ付テハ大分
議論ガアリマシテ、國有ヲ可トスルト
云フ説モアリマスガ、水電ニ關シ政府
ハ國有ニスル趣旨デ之ニ當ツテ居ラレ
ガアルノデハナイカ、殊ニ河川法ハ二
十九年ノ制定ニ係リ、今ヤ時代ニ相應
ハヌヤウナコトガアルト申シタニ對シ
テ、政府ハサウ云フ法案ノ必要ヲ認メ、
目下調査中デアルト云フ御答デアリマ
シタ、併シ今期議會ニ提案ノ運ビニ至
ト思ヒマスガ、來期議會ニハ必ず御提
案ニナル積リデ内務省其他ニ於テ目下
實際御調査中デアルト云フ御答デアリマ
スカ、大體ノ御見込ヲ伺ヒマス、第二ニ
日本ノ河川ガ國有デアルコトハ常識上

居ラル、ヤウデアリマスガ、準據ノ法
規ガアルノデゴザイマスナラバ御示ヲ
願ヒタイノデアリマス

○儀政府委員 第一ノ御尋ハ治水ト云
ニ重だノ關係アリト認メタル河川ダケ
ヲ國ガ管轄シテ居ルノデアリマシテ、
主務大臣ガ左様ニ認メナイ河川ハ何レ
ノ所有ニナルノデアリマスカ、管理ハ
府縣ナリ國ナリデヤツテ居ルノモアリマ
セウガ、ソレニシテモサウ云フコトヲ
規定シタ法規ハ現存シテ居ルノデアリ
マスカ、或ハ又河川其物ガ國有デアル
ト同様ニ、水力モ國有デアルト考ヘテ
居リマスガ、水利ヲ利用シテ水力電氣ヲ
起シテ居ル、其水力電氣ニ付テハ大分
議論ガアリマシテ、國有ヲ可トスルト
云フ説モアリマスガ、水電ニ關シ政府
ハ國有ニスル趣旨デ之ニ當ツテ居ラレ
ガアルノデハナイカ、殊ニ河川法ハ二
十九年ノ制定ニ係リ、今ヤ時代ニ相應
ハヌヤウナコトガアルト申シタニ對シ
テ、政府ハサウ云フ法案ノ必要ヲ認メ、
目下調査中デアルト云フ御答デアリマ
シタ、併シ今期議會ニ提案ノ運ビニ至
ト思ヒマスガ、來期議會ニハ必ず御提
案ニナル積リデ内務省其他ニ於テ目下
實際御調査中デアルト云フ御答デアリマ
スカ、大體ノ御見込ヲ伺ヒマス、第二ニ
日本ノ河川ガ國有デアルコトハ常識上

居ラル、ヤウデアリマスガ、準據ノ法
規ガアルノデゴザイマスナラバ御示ヲ
願ヒタイノデアリマス

○儀政府委員 第一ノ御尋ハ治水ノ統括的ノ根

據ノ事務ノ都合デ此處ハドウ、彼處

ハドウト云フヤウナコトデ、今日ヤッテ

ラナイコトハ御案内ノ通リデアリマス、

○寺田委員 第一ノ治水ノ統括的ノ根

據ノ事務ノ都合デ此處ハドウ、彼處

本法ヲ提案ナサルト云フ目論見ノ付カ
ナイト云フコトハ、甚ダ遺憾デアリマ
スガ、成程廣汎ナ重大ナ問題デアリマ
スカラ、慎重ノ御調査ヲ願ヒマシテ、速
ニ議會ニ提案サレムコトヲ希望シテ置
キマス、第二ノ問題ハ成程今ノ水力電
気ニ關スル事デアリマスガ、是ハ内務
省限リデモ中々容易ニ御決定ナサルト
云フコトニモ行クマイト思ヒマスガ、
何等カ之ニ付テ政府ハ考慮サレタコト
ガアルカ、即チ内務省トシテ御調査ニ
ナツタコトガアルカ、ドウカト云フコト
ニ付テ御伺シタイノデアリマス、第三
ノ問題ニ付テハ今御示ノ法文ニ依ッテ
大體ハ分リマシタガ、併シ此第十七條
ナリ第十八條ニ依リマシテ、内務省ガ
認定ヲスルトカセヌトカ云フ場合ニハ、
何カ内務省ノ中ニ於テ相當基準スベキ
所ノ方針ガナクチャナラヌト思ヒマ
ス、唯此條文ダケニ依リマシテ、此事
件ハ斯ウ、アノ事件ハア、ト云フテ、常
識的ニ其出願ニ對シテ御決定ニナッテ
居ルノデアリマスカ、何カ其處ニ基準
スベキ所ノモノガナクテハナラヌト思
モノト思ツテ居リマスガ、ソレ等ハ確定
フノデアリマスガ、ソレハ職務上矢張
内務省ノ中デ御定メニナツテ居ル筈ノ
モノト思ツテ居リマスガ、ソレ等ハ確定
的ニ必ズ同一ノ條件事項ニ嵌ッタモノ
デナケレバナラヌト云フ風ニ、各地ノ
出願ニ對シテ同様ノ標準ニ依テ御決
定ニナルカ、聊カ其處等ニ於テモ、吾
ノ關係シテ居ル所ニ於テ疑問ガ起ルノ

○ 依政府委員 内務省ニ於テ水力電氣ヲ國有ニスベキヤ否ヤト云フコトニ付テノ、サウ云フ 調べヲシタコトハアリマセヌ、是ハ一般ノ問題トシテ、サウ云フ議論ガアルコトハ御承知ノ通リデアリマスガ、内務省トシテソレヲスルニ付テハドウスルカト云フコトハ調べタコハアリマセヌ、ソレカラ水力電氣ニ付テノ水利權ノ許可ニ付キマシテハ、唯概括的ニ申スナラバ、河川ニ支障ナキ限り許可スル方針デ調べテ居ルト申上ゲルヨリ外ハナイガ、併シ河川ニ支障ナキ限リト云フコトハ、是ハ餘程重大ナル意義ヲ有スルノデアリマシテ、例バ其水量ヲ唯獨リ水力電氣ノミニ使用スルニアラズシテ、或ハ沿線ノ河沿ヒノ田面ニ灌漑用トシテ使フテ居ル場合モアリマスシ、ソレカラ其河川ハ舟筏ノ利用ニナツテ居ル場合モアリマスシ、又養魚ノ目的デ其河水ヲ利用シテ居ル場合モアリマス、其河川ノ利用ハ御承知ノ通リニ種々難多ナ目的ノ爲ニ、一般ノ公衆一般ノ民衆ガ之ヲ使用シテ居ルノデアリマスカラ、此支障ナキ限りト云フ、其限度ヲ調べルコトハ中庸易ナ事デハアリマセヌ、又假ニ或ル程度マデ支障ナシトシテモ、其水量ヲドノ程度マデ規定スルカト云

フ如キ事モ、是モ重大ナル意義ノアル問題デアルノデアリマス、又其工作物ヲ造ルニ付テモ、其工法即チ工事ノ設計及工事ノ方法ガ果シテ水害ノ場合ニドウデアルカ、工作物ヲ極ク不用意ニ工作サレルト云フト、是ハ言フ迄モナク水害ノ時ニ之ガ爲ニ却テ非常ナ被害——慘害ヲ受ケルト云フコトニナリマスカラ、之ニ付テモ十分ニ調ベナクチャナラヌ、ト云々タ如ク、或ハ競願ノアツタ場合ニハ宜イケレドモ、又競願ガ無クトモ、其工事ガ果シテ其人間ニ誠意ガアルヤ否ヤ、胡麻化シノ工事ヲスルヤウナコトガアリハセヌカト云々タ如キ事モ、此許可ノ考慮ノ中ノ必要條件デアルノデアリマス、此支障ナキ限りト云フコトバ簡單デアルガ、之ヲ調ブルニ決シテ常識ノミニ依ッテ之ヲ判断スルト云フコトハ、到底出來得マセヌノデアリマス、技術的ニ之ヲ調査シ、實地ニ之ヲ調査シ、縝密ナル研究調査ヲシタ結果ニ於テ、初メテ水利権ヲ何レニ許スカト云フコトヲ定メルコトガ出來得ルコトニ相成ルノデアリマス

アルノデアリマス、先刻申上ゲタル所ノ新宮川モ近年年々ニ出水ノ多キヲ加ヘルト云フノハ、畢竟水源ニ關スル所ノ森林伐採ノ多イト云フコトガ因ヲ爲シテ居ルデアラウト考ヘルノデアリマスガ、殊ニ農林省ノ所管ノ森林ニナリマスルト云フト、開闢以來未ダ鉛ヲ容レザルト云フヤウナ所ノ隨分大キナ山ガ國有林ニハアル、從來民間ノ伐採ト云フモノハ、或ハ之ヲ間伐ニスルトカ、此年ヲ置イテ伐ルト云フコトノ慣例ニ地方デハナツテ居リマスガ、現ニ新宮川ノ上流等ニ於テ國有林ヲ伐採スルトキニ、大森林ヲ皆伐ニスルト云フコトガ近來見ル所デアリマス、是ハ所管ガ變ツテ居ル、一方ハ森林ノ經營デアルカラシテ、國有林ヲ伐採スルニ當ツテハ、所管ノ官省ノ自由デアルノデアリマセウカ、此森林ヲ伐採スルコトニ付テハ、別ニ内務省ト打合セモ、國家ノ利害上協議ト申シマセウカ、サウ云フコトノ交渉又ハ取扱ト云フモノハ全クナイモノデアリマセウカ、所管タル農林省ニ於テ森林ヲ伐採スルト云フコトハ、隨意ニナフテ居ル譯ナノデアリマセウカ、其邊ハドウ云フ御取扱ニナツテ居リマスル力リマスガ、之ヲ植林伐採スルニシテモ、トハ專ラ農林省デ主管シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ植林伐採スルニシテモ、假令農林省ト雖モ國家ノ機關トシテ矢張水害ニ非常ナ關係ノアル所ニハ、其

水害ヲ防止スルト云フ見地ノ下ニ於テ、其植林及伐採ヲシテ居ルコトハ論ヲ俟
官省ハソレヲ伐採スルトキニ收益ヲ舉
ルコトニ、ツイ重キヲ置クガ爲メニ、或
ハ水害ト衝突スルト云フガ如キ伐採ノ
仕方ヲスルト云フコトガナイトモ言ヘ
ヌノデス、サウ云フ風ナ場合ニ於テハ
更ニ國家ハ保安林ト云フモノニ致シマ
シテ、保安林ニ依テ初メテ其伐採ヲ制
限スル、又ハ植林ヲ特ニ命ズル、斯ウ云ツ
タヤウナコトニナッテ居ルノデアリマ
ス、又モウ一步進ンデ崩壊地ト云フコ
トニ付テモ、之ニ對シテ水害防遏ノ爲
ニ砂防區域ヲ定メル、ソレハ政府ガヤ
ル場合モアリ、地方ガヤル場合モアル、
之ニ對シテ政府ハ助成ヲシテ、砂防工
事ノ計画ヲ立て實行ヲスル、斯ウ云フ
事デ以テ即チ水害ヲ根本的ニ防止スル
ト云フコトニ法制モナッテ居リ、事實ヤッ
テ居ル、ソレニ入ラザルモノハ、是レハ
農林省ハ今申シマシタ如ク、假令自己
ガ營利ノ爲メ、收益ヲ舉ゲルコトヲ主
ト致シマシテモ、實際土砂監視ニ關係
アル場合ハ之ヲ皆伐採スルト云フコトハ、
決シテ爲サルコトニ注意シテ居ルダ
ラウト思ヒマス、甚シク治水ニ害ガア
リ、又水源ノ涵養等ノ爲ニハドウシテ
モ制限ヲ置カナケレバナラヌト云フ所
ニ付テハ、保安林ニ編入シテ之ヲ制限
スルト云フコトノ外ハナイノデアリマ

○神谷委員長 モウ他ニ御質問ハアリ
マセヌカ——私モ委員トシテ一寸一二
此席デ質問ヲ致シタイト思ヒマス、ド
ウカ御許ヲ得タイト思ヒマス、河川法
ノ第三十二條ノ第二項ノ規定デアリマ
ス、此規定ニ對シマシテハ非常ニ關係
スル所ノ公共團體、其他私人ノ關係デア
リマスガ、疑ヲ持チ、非常ニ之ニ對シテ
困難ヲシ、各關係者ハ内務省ニ是ノ補
助其他ノ點ニ付テ毎々御邪魔ニ出ル筋
合ニナツテ居リマスガ、此但書ニ依リマ
スルト、命令ノ定ムル所ニ從テ費用ノ
全部若ハ一部ト云フモノヲ補助スル、
之ヲ妨ゲズトシテアリマスガ、此結果
ガ即チ運動方面ニ關係アル事實ニナツ
テ居リマスルガ、此補助ノ全部一部ト
云フ事柄ハ、一定ノ標準ガアリマセウ
ト存ズルノデアリマスガ、或ル一説ニ
依リマスルト、是ハ運動ノ結果ニ依テ或
ハ一部ガ全部ニナルト云フヤウナ疑ヲ
持ツテ居ル條項ニナツテ居リマスガ、何
レ此公共團體デアルトカ、斯様ナ關係
者ハ一文モ餘計ニ補助ヲ受ケルコトヲ
望ムヤウナ次第デ、ソレドヽ内務省ニ
向ツテ請願ヲスルヤウナ次第ニナツテ居
リマス、此公共團體ノ力、ソレ自身ニ依
テ、厚薄ヲ内務省ニ於テ御付ケニナル
コト、ハ承知シテ居ルノデアリマスガ、
是等ノ御方針ノ御話シ出來得ル程度ガ
アリマスレバ、御話ヲ承リタイト思ヒマス、
今一つ之ニ關シマシテ或ル鐵道會社ノ
如キモノ、力ガナイト云フ程ノ鐵道デ

モナイニモ拘ラズ、是ガ爲ニ全部ノ補助ヲ得テ或ル鐵橋ヲ造ッタ云フコトヲ承ツテ居リマス、斯様ナ營利會社ダカラ全部ノ補助ヲヤルト云フ御趣旨ノ下アルカソレハ分リマセヌケレドモ、又公共團體タル一水利組合ノ如キモノモ非常ニ負擔ニ堪ヘ兼ルト云フ所モアルノデアルガ、全部ノ補助等ハ所詮望得ラレヌト云フコトデ、工事モ進ミツツアルト云フコトハ私共承知シテ居ル所デアリマス、是等ニ對シマスル但書ニ付テノ補助ト云フモノ、歩合ニ關スル程度ハ、如何ナル方針ニ依テ補助セラル、カ、之ヲ第一ニ御尋ヲ致シタイト存ズルノデアリマス

ヘルヤウニシタイト思ツテ居リマスル
ガ、併シ是ハ政府ノ財政ガ到底全部ノ
補助ヲ爲スト云フコトハ困難デアリマ
スカラ、只今申上ゲタ如ク附帶工事ニ對
シテハ先ヅ原則トシテハ三分ノ二、例
外トシテハ全部ヲヤル、其全部モ極メ
テ制限的例外デアル、斯ウ云フコトニ
取扱上相成ツテ居ルノデアリマス
○神谷委員長 尚ホ一ツ御尋シマス、是
ハ荒川ニ付テ、荒川ノ河川改修デ下流
ハ既ニ完成セラレタノデアリマスガ、
上流ガ殘ツテ居ルノデアリマス、此上流
ノ河川ニ對シマシテ或ル一二ヶ村ノ耕
地ノ買收ニ取掛リ、未ダ此買收ガ了セ
ナイ中ニ、丁度政府ノ整理ニブツカッタ
ヤウナ次第デ、從ツテ此中途ニ屬スル所
ノ買收ガ、其區域ノ者ハ既ニ官民區域ノ
境界ヲ定メラレテ、是ガ金錢ノ授受ニ
取掛ラント云フ矢先キニ於テ、中止セ
ラレマシタガ爲ニ、其處ニ居住スル所
ノ人ハ第二ノ住宅地ヲ見付ケ、マダ移
轉ハシマセヌケレドモ、既ニ準備行爲
モ全部ヤツタノデアリマス、又官民區
域ノ境界ニ對シテ分筆其他ノ手續モ完
了シタノデアリマス、然ル所財政整理
ノ結果繰延ニナツタ爲ニ遂ニ其事ガ沙
汰止ミニナツタ、從ツテ其地方民ハ借金
ヲシテ第二ノ自分ノ行ク所ノ候補地ヲ
作ツテ、移轉料ハ貰ヘナイ、賠償金ハ取
レナイト云フ點デ、非常ナ苦境ニ陥ツテ
居ルト云フ現狀デアルノデアリマス、
實ニ此關係地ノ人民ニ對シテハ氣ノ毒

